

問1 傍線部ア、オの漢字はひらがなに、カタカナは漢字に書き改めよ。

問2 二重傍線部「れる」と同じ意味で用いられている助動詞をア、オの中から全て選び、記号で答えよ。

ア かつての面影がしのばれる。 イ 保健室に連れて行かれる。 ウ 年配の方が隣の部屋に向かわれる。

エ 山の頂上が雲に覆われる。 オ 準備を怠ったことが悔やまれる。

問3 空欄 に入る最も適当な語を文中から漢字三字で抜き出して答えよ。

問4 傍線部1「『人類は進化の勝者』という考え」とあるが、それを言い換えている部分を文中から二十字以内で抜き出して答えよ。

問5 傍線部2「その触媒となった。」とあるが、それはどういうことか、説明せよ。

問6 傍線部3「環境を対象化して」とあるが、それはどういうことか、説明せよ。

問7 傍線部4「下克上の世の中を生き延びるためキリスト教や仏教などの世界宗教が生まれた。」とあるが、それはなぜか、説明せよ。

問8 傍線部5「言葉以外の手段を用いた」とあるが、それはなぜか、説明せよ。

問1 傍線部アゝオの漢字はひらがなに、カタカナは漢字に書き改めよ。

問2 空欄 I に入る最も適当な語を文中から漢字三字で抜き出して答えよ。

問3 空欄 II には、共通した接続語が入る。最も適当な語を次のアゝオの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア しかし イ そして ウ つまり エ だから オ ところで

問4 空欄 III に入る最も適当な語を次のアゝオの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア ア行 イ カ行 ウ サ行 エ タ行 オ ナ行

問5 傍線部1「そんな便利な『ちよつと苦手かも』」とあるが、それはどのような点が便利なのか、説明せよ。

問6 傍線部2「これはたぶん、わざと過激な言い回しをしているな、と感じたのである。」とあるが、なぜそのような感じたのか、説明せよ。

問7 傍線部3「卑怯者」とあるが、それはどういうことか、説明せよ。

問8 傍線部4「文章の最後にそう言われると、不意に書き手の姿が消えてしまったように感じる。」とあるが、なぜそのような感じなのか、説明せよ。

国語

【解答例】

第1問

- 問1 アくし イ脅威 ウ熟知 エよじょう オおんしょう
問2 イ・エ
問3 共感力
問4 人類が成功者として歩んできたという思想
問5 歌や踊りなどの音楽的コミュニケーションが共感力の強化を促進する役割を果たしたということ。
問6 自分たちの周りの世界を自分たちから切り離し、自分たちの都合よく暮らしていくためにつくり替えていくこと。
問7 地位・身分の下の者が上の者を押しつけて権力を握るといふ、社会秩序が崩壊し人間不信が極まった世の中において、人々は、現世の苦しみは死後の世界で救済されるという宗教に救いを求めようとしたから。
問8 言葉には、支配層に弄されることで社会の外に共通の敵を作って団結する仕組みの基として使われ、武力の強化と共に今も戦争の基本的な考え方として力を発揮しているといふ負の側面があるから。

【採点の観点】

- 問5 「触媒」他を促進する働き」の意味を考え、解答に反映させているか。
問6 「対象化」物事を一歩引いて把握すること」の意味を考え、解答に反映させているか。
問7 「下剋上の世の中」における「宗教」の意味を考え、解答に反映させているか。
問8 本文から「言葉」が歴史上果たした「負の役割」を読み取り、解答に反映させているか。

第2問

- 問1 ア確保 イ究極(窮極) ウゆる(さ) エとくめい オ痛烈
問2 空気感
問3 ウ
問4 イ
問5 対象を完全に否定することなく、好き嫌いは人それぞれだといふニュアンスを含む一種の逃げ道を作ることができ、更に「ちょっと」「どこかも」でそれを強化している点。
問6 自ら進んで逃げ道をふさいいでみせることで、その対極にある「もによる」といふ強力な逃げ道的な表現への痛烈な反論を示すため。
問7 対象に対して抱いた否定の気持ちがあるにもかかわらず、その理由を説明したり、責任を取ることとはしたくないということ。
問8 誰になぜ「批判を呼びそうだ」なのか、ということが明示されないうまま、透明人間の駄目出しのような否定の気分だけが生み出されるから。

【採点の観点】

- 問5 「便利」都合のいい」の意味を考え、解答に反映させているか。
問6 普通はしない「わざと過激な言い回し」を行う意味を考え、解答に反映させているか。
問7 「卑怯者」ずるく、いやしい者」の意味を考え、解答に反映させているか。
問8 「不意に書き手の姿が消えてしまう」時の思いを本文から読み取り、解答に反映させているか。

福井工業大学 令和7年度 一般選抜Ⅰ期①日程

国語

【出題意図】

第1問

評論文(人類学)を出題し、漢字の読み書き、語句や表現の正しい意味理解、文章の内容や筆者の意図の正確な読み取りなどについて、問うものである。

第2問

随筆文(言語学)を出題し、漢字の読み書き、語句や表現の正しい意味理解、文章の内容や筆者の意図の正確な読み取りなどについて、問うものである。